

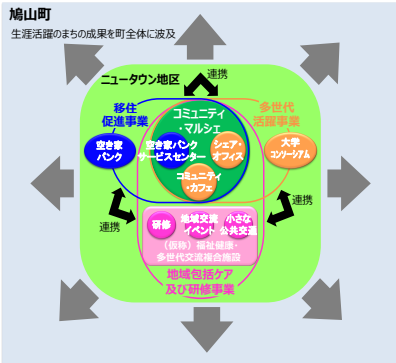
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：埼玉県 鳩山町

◆コンセプト：「生涯現役として活躍できるまち鳩山」

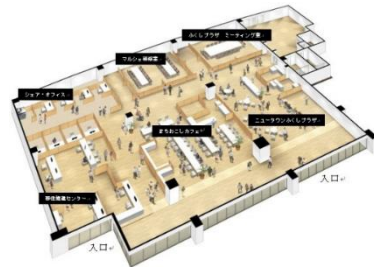
超高齢化のまち（シルバータウン）を、全ての世代の方が元気にいきいきと活躍する生涯活躍のまち（プラチナタウン）へ。

<特徴>

- 民間調査「街の幸福度ランキング2021・2022」で2年連続全国1位となるなど、幸福度の高い町。
- 少子高齢化が埼玉県内で最も進行。（高齢化するニュータウン地区）
- 充実した子育て環境（待機児童ゼロ、豊富な自然環境）
- 鉄道駅がないため、町が運営する公共交通が充実



【生涯活躍のまちのイメージ】



【楽しく気軽に集い交流できるサロン、物づくりや販売にチャレンジできる生涯活躍の場としてニュータウン内に整備したコミュニティ・マルシェ】



【ニュータウン内の学校跡地に官民で整備した福祉・健康多世代交流複合施設】

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり（ニュータウン内に整備）

「交流・居場所」

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 交流サロンに、起業支援のまちづくりカフェを併設



【今後の展開】

- シェアオフィスをテレワークの拠点に
- まちづくりカフェへの日替わり出店者・出品者を、来館者で下支え

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 栄養・運動・社会参加の三本柱を強化する事業を推進
- ⇒埼玉県65歳健康寿命で、平成26・27・28・令和2年に男女ともに第1位。
（男性は平成26～令和2年の7年連続第1位）

【今後の展開】

- 栄養⇒各種食事会などを実施
- 運動⇒鳩山町健康マイレージ、大学等との連携
- 社会参加の推進⇒健康づくりサポーター、健康ウォーカーなど町民組織の育成

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- コミュニティマルシェ内に、不動産団体と連携した移住推進センターを設置し、空き家バンクを運営
- 空き家を改修したシェアハウスを運用

【今後の展開】

- マッチングの強化（移住コーディネーター等の配置）
- シェアハウスの活用
- 「マイホーム借上げ制度」活用による賃貸物件の拡大（空き家利活用の推進）

コミュニティへの人の流れ

- 女性起業家がふるさと納税返礼品として提供しているチーズケーキがファンを増やし、関係人口の拡大に寄与
- 農家の女性は農産物をコミュニティ・マルシェで販売するほか、加工して、まちおこしカフェでランチとして提供するなど活躍（6次産業化へ貢献）

その他特徴的な取組

- 町内全域をドア・ツー・ドアで200円で走るとともに町外へも接続するデマンドタクシー、町外の2つの鉄道駅を結ぶ町営路線バスを運行し、環境に優しいSDGsのまちを進めている。
（交通死亡事故ゼロの継続年数15年）

基礎データ

- ・人口：12,906人（R6年4月1日時点）
- ・H27.10 地方版総合戦略を策定
- ・H28.12及びH29.11地域再生計画認定により、地方創生加速化交付金・推進交付金・拠点整備交付金を受け、コミュニティ・マルシェを核とした生涯活躍のまち構想推進による鳩山ニュータウン活性化事業、ニュータウンに整備した拠点と各集落とを公共交通で結ぶ集落生活圏の維持活性化事業を実施。